

期日	班	資料番号
10/19	3	5

令和元年度 香取市市民事業仕分け

事業名	伊能忠敬記念館管理運営事業
担当部課	教育部生涯学習課

香 取 市

事業シート（概要説明書）

予算事業名	伊能忠敬記念館運営事業・資料管理事業・展示教育普及事業			事業開始年度	2008					
上位施策事業名	歴史・文化			担当局・部名	教育部					
根拠法令等	文化財保護法 博物館法 伊能忠敬記念館の設置及び管理に関する条例			担当課・係名	生涯学習課・伊能忠敬記念館					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			作成責任者	紺野浩幸					
実施の背景	・日本で初めて実測による「日本地図」を完成させた伊能忠敬に関する資料を永久に保存し、教育的配慮の下に一般公開をすると共に、観光振興に資するため、平成10年5月に当該記念館を開館した。									
目的 (何のために)	・多くの方に伊能忠敬の生涯と業績について理解し、その生き方に共感を得ること、また、地図の魅力について関心をもってもらうことを目的とする。 ・観光拠点の一角を成す施設として、利用者の増加を図ることにより観光事業の促進を目的とする。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	入館者			対象者数（全住民に対する割合）					
					人	(%)			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：）								
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）								
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）									
事業内容 (手段、手法など)	事業内容									
	<p>【伊能忠敬記念館運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理者及び来館者への対応 開館状況：毎週月曜日休館（祝日は除く）、12月29日～1月1日休館 開館時間：午前9時～午後4時30分 受付、展示解説監視員の雇用 施設管理(委託) <p>清掃、空調設備保守点検、消防用設備保守点検、電話設備保守点検、冷水器保守点検、電動リフト保守点検、警備、自家用電気工作物保安業務</p> <p>【資料管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国宝伊能忠敬関係資料修理(委託) 虫菌害モニタリング調査(委託) <p>【展示教育普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展・収蔵品展の開催 子供体験教室・伊能忠敬講座開催 									
関連事業 (同一目的事業等)	・資料管理事業 ・展示教育普及事業 ※下記事業費には当該2事業の経費を含む									
コスト	2019年度（予算）		2018年度（決算見込）		2017年度（決算）		2016年度（決算）			
	事業費合計		20,849千円		24,299千円		25,330千円		30,791千円	
	事業費内訳 (2018年度分)		<p>【伊能忠敬記念館運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会開催 48千円 パンフレット等印刷、消耗品費、光熱水費、小修繕 5,547千円・電話料ほか291千円・施設・設備保守点検・清掃業務・警備委託 4,291千円・コピーFAX借上料105千円・高圧電気設備一部交換586千円・消火器5本購入35千円 日本博物館協会会費ほか35千円 <p>【資料管理事業】 ・国宝資料修理 5,362千円・文化財害虫・菌モニタリング1,382千円・文化財保存用品629千円・文化財保存関係研修・会議参加 62千円</p> <p>【展示・教育普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊能忠敬翁没後200年事業（シンポジウム・特別展・企画展・講座開催・伊能大図パネル公開）5,366千円 							
	担当正職員	3.3人	23,760千円	3.3人	23,760千円	3.1人	21,655千円	3.0人	20,945千円	
	臨時職員等	9.0人	6,843千円	9.0人	6,023千円	8.0人	4,871千円	8.0人	5,686千円	
人件費合計	12.3人	30,603千円	12.3人	29,783千円	11.1人	26,526千円	11.0人	26,631千円		
総事業費	51,452千円		54,082千円		51,856千円		57,422千円			
財源 内訳	国県支出金		3,633千円		3,981千円		4,002千円		3,981千円	
	国県支出金の内容		文化財保存整備事業補助金（国・県）							
	地方債									
	その他特財	22,960千円		26,338千円		29,763千円		26,218千円		
	その他特財の内容	伊能忠敬記念館入館料・共通券入館料・パスポート入館料・伊能忠敬記念館物販収入								
一般財源	24,859千円		23,763千円		18,091千円		27,223千円			
財源合計	51,452千円		54,082千円		51,856千円		57,422千円			

事業シート（概要説明書）

予算事業名		伊能忠敬記念館運営事業・資料管理事業・展示教育普及事業			事業開始年度	2008																																																	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2018年度	2017年度	2016年度																																																
		開館日数		日	322	321	319																																																
		企画展、特別展等の開催		回	7	7	7																																																
		教育普及事業の開催		回	9	4	4																																																
	単位当たりコスト	総事業費	/	開館日数	千円	167	162	180																																															
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	<p>・当該事業の目的を達成する上で、関連事業として「資料管理事業」及び「展示・教育普及事業」がある。このうち、「展示・教育普及事業」では、常設展示のほか、常設展示の内容をより充実させた収蔵品展や国宝資料の持つ意義と魅力を多角的に紹介する企画展を開催している。また、教育普及では土日、祝日に常設展示の解説会のほか、講演会等への職員派遣、夏休み子ども向け体験教室を開催するなど、幅広く伊能忠敬の業績等について周知を図っている。また、観光拠点の中枢をなす施設でもある記念館として、受付での観光案内を始め、水郷佐原山車会館との共通入館券の販売や山車行事、小江戸マラソン大会等での来訪者に対しては入館料の減免措置などを通して利用者の増を図りながら観光振興に寄与している。</p>																																																					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2018年度	2017年度	2016年度																																																
		入館者数		人	88,996	87,377	82,946																																																
		入館料		千円	33,652	33,141	32,292																																																
				/	/	/																																																	
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>・平成10年5月22日開館以降、様々な資料や手法を用いながら、伊能忠敬の生き方や業績について紹介をし、また、伊能家において大切に保存されてきた重要文化財を始めとする数々の資料を展示しながら利用者の増加を図ってきた。平成22年6月には、「伊能忠敬関係資料」2,345点が国宝指定され、昨年は伊能忠敬が没してから200年の節目を迎え、本市をはじめ各地域で様々な事業、イベントを通して記念館の認知度は高まったものと確信している。しかしながら、近年、インバウンドを始め多様化する入館者への対応が急務となってきている。また、記念館は文化施設である一方で、観光拠点の1ツールでもあることから、観光ニーズをも注視しながら効果的な展示構成を図りながら、安定した来館者の確保を維持していく上で、常設展示のリニューアルが当面の課題である。</p>																																																					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>千葉県内で伊能忠敬記念館同様に国指定の史跡と重要文化財を保管・公開する施設に、旭市の大原幽学記念館がある。同市のHPなどで公開されている諸項目は次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>・H29年度 入館者</td> <td>5,225人</td> <td>(内有料)</td> <td>2,175人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・H29年度 歳入</td> <td>入館料</td> <td>602千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・H29年度 歳出</td> <td>人件費</td> <td>18,417千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大原幽学記念館管理費</td> <td>5,142千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大原幽学記念館活動費</td> <td>3,822千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>27,381千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						・H29年度 入館者	5,225人	(内有料)	2,175人					・H29年度 歳入	入館料	602千円						・H29年度 歳出	人件費	18,417千円							大原幽学記念館管理費	5,142千円							大原幽学記念館活動費	3,822千円							合計	27,381千円					
・H29年度 入館者	5,225人	(内有料)	2,175人																																																				
・H29年度 歳入	入館料	602千円																																																					
・H29年度 歳出	人件費	18,417千円																																																					
	大原幽学記念館管理費	5,142千円																																																					
	大原幽学記念館活動費	3,822千円																																																					
	合計	27,381千円																																																					
特記事項																																																							

項目	区分	2019	2018	2017	2016	備考
展覧会	特別展	回数	1		1	
	企画展	回数	1	2	2	3
	収蔵品展	回数	5	3	4	3
	ひな人形展	回数	1	1	1	1
展覧会合計	回数	7	7	7	8	
子供体験教室	回数	4	4	4	4	2013年度から実施
	参加人数	39	39	35	36	
	内容	夏休み期間に、忠敬の測量方法を学習し、自分の身体や身近な道具を使って実際に測量を追体験することによって、市内外の児童・生徒に伊能忠敬への興味・関心を深めてもらうとともに、夏休みの宿題や自由研究等の参考となる学習機会を提供するために実施している。対象は小学4年生から中学3年生までである。1回ごとに定員10人を募集して実施している。				
伊能忠敬講座	回数	1講座4回×2回	1講座5回	—	—	2018年度から開講
	参加人数	14	3	—	—	
	内容	主に香取市民を対象として、伊能忠敬に関するテーマを掘り下げたテーマを1回ごとの講義を実施し、忠敬の業績について理解を深める目的で実施している。講義内容は、常設展示の解説と展示中のエピソード、測量・製図方法、伊能図の概要である。				